



拓け！自らの可能性

～社会参加に向けて～

進路だより 第1号

令和7年6月6日発行

だて支援学校キャリア支援部

校長あいさつ



校 長 渡邊弘規

だて支援学校は、開校して4年目を迎えました。本校では、令和6年度、11名の卒業生が巣立ちました。卒業生一人一人が在学時にがんばって自立を目指した結果、自分の夢をつかみ、社会に踏み出すことができました。

さて、国では、令和8年度より障がい者の法定雇用率を2.7%（現在は2.5%）とすることに決まっています。それに伴い、企業等においては、障がい者雇用への需要が高まるとともに、期待も高まっています。

一方、福島県では、県立特別支援学校卒業生の一般企業就労の目標値を30%として設定してきました。令和6年度には、初めて目標値の30%を達成し、30.1%（本校は45.5%）となりました。

社会に出ることはゴールではありません。むしろ、ここがスタートです。子どもたちが少しでもいいので、「自分なりに、自分らしく」がんばり、自分の夢を実現し、より豊かな人生を送ることができるよう、そして少しでも地域に貢献できる人になれるよう、教職員一同、保護者さんや関係機関のみなさん、地域のみなさんと連携・協働し、最大限の力を尽くして参ります。どうか一緒に子どもたちの夢に向かって応援していきましょう！

高等部前期産業現場等における実習が始まります

高等部主事 香取里美

今年度の「前期産業現場等における実習」は、6月9日（月）～20日（金）となります。1年生を中心とした校内での実習と、2、3年生を中心とした校外での実習となります。

校内での実習は、ソーシャルサービス班、フルーツキャップ班の活動となります。今年もソーシャルサービス班では、初日に講習会を実施します。両班とも保護者向けの実演会を予定しています。また、校外での実習は、2、3年生が企業や福祉サービス事業所の御協力のもと、6社の企業と11か所の福祉サービス事業所で実習を実施させていただく予定です。

日々の授業で学んだことを実践し、自分の適性や課題を確認して自己理解を深め、進路選択を増やすことができる機会にしたいと考えます。

保護者の皆様には、お子様の進路実現に向け、お子様本人が自己選択、自己決定できますよう、対話を通じて理解を深める機会としていただければと思います。また、励ましの言葉や実習に際しましての御協力をお願いいたします。

作業学習紹介

<高等部>

だて支援学校高等部では、将来の職業生活や社会生活を見据え、地域社会と繋がり、地域社会へ貢献できる作業学習を目指し学習を展開しています。

クリエイティブサービス班では、主に革工製品、手工芸製品の製作を行っています。使いやすさ、デザインなどについて意見を出し合いながら、製品開発に取り組み、一つ一つ丁寧に仕上げています。革製品では、伊達地区ならではの材料として、駆除されたイノシシの革も材料として使っています。また、伊達市役所での販売会や学習発表会での販売活動を通して、「質の良い製品」について考えながら取り組んでいきます。また、お客様に喜んでいただき、達成感を感じる経験を重ねることで、将来に向けて「働く意欲」を高めることにつなげていきます。

アクティブサービス班では、主に清掃作業、農園芸作業、リサイクル作業を行っています。どの作業種も「正確性」「安全性」を大切にしています。それぞれの作業で用具の置き方や持ち方、使い方、手順などを身に付けることができるように取り組んでいます。その身に付けた技能を生かして、地域連携作業や販売会や学習発表会に挑戦し、達成感を感じながら、新たな課題を発見したり、解決したりする経験を通して、将来のより豊かな社会参加や職業生活に結び付けることができるように努めていきます。



高等部進路希望調査の集計結果から

高等部第1回進路希望状況（全34名）

希望内容	1年(人)	2年(人)	3年(人)	合計希望数(人)	希望率(%)
進学	0	1	0	1	2.9
企業就職	1	2	5	8	23.5
福祉就労	6	9	4	19	55.9
どのような進路を選択するか考慮中	3	1	1	5	14.7
その他	0	0	0	0	0
未提出	1	0	0	1	2.9

先輩の話を聞く会 に参加して

5月21日（水）「先輩の話を聞く会」を開催しました。高等部・中学部の生徒と保護者の方に参加していただきました。

高等部 O・I

私は5月21日に行われた、令和7年度先輩の話を聞く会に参加しました。昨年度に引き続き、2回目の参加でした。1年生の時は、お話を聞いていても難しい話のように感じてしまいメモを取ることができませんでした。ですが昨年の企業見学でウエルシアへ行ってメモの取り方を聞いたので今年度はそれを生かし、自分の将来のことを考えながら、大切だと思うところのメモを取ることができました。

私が先輩の話を聞く会に参加して特に印象に残ったことは2つあります。

1つ目は、東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社の先輩の「大変だったこと」についてのお話です。先輩は仕事の内容が多くて覚えるのが大変でも、周りの人へ相談しているという話を聞きました。私は1年生のときに周りの人へ相談できずにもじもじしてしまうことが多く、2年生になっても時々そのようになっていました。しかし、先輩の話を聞いて、周りの人に相談することによって自分が成長できるということを学びました。これから自分の成長のためにも、積極的に分からないことを相談できるようになりたいと思います。

2つ目は、有限会社すずらん工房の先輩の「これから頑張ること」についてのお話です。先輩からは、「これから頑張りたいこと」に「毎日休まないで出勤する」という目標があることを聞きました。私も時々学校を休んでしまったり、疲れてしまったりすることがあるので、今後の現場実習や将来働くときのために先輩と同じように毎日休まないようになりたいと思いました。

6月9日からは前期現場実習があり、私は初めての校外実習を行います。校外での実習は初めてで緊張していますが、先輩方の話を頭に入れて実習に生かしていこうと思います。

最後に、お忙しい中私たちのために貴重なお話をしてくださいました先輩方、本当にありがとうございました。



「先輩の話を聞く会」には、保護者の方にもご参加いただきました。保護者の方々より感想をいただきましたので、一部を紹介させていただきます。

○今年初めて「先輩の話を聞く会」に参加させていただいたのですが、就労とは、どのような様子なのか、就労に何が大切なのか知れて良かったです。ありがとうございました。

○まずフルタイム5～7時間しっかり働いて本当に素晴らしいと思いました。今からできる、規則正しい生活を身に着けたり、元気に大きな声であいさつしたり、相手に伝わるあいさつなどを身につけさせたいと感じました。また、困ったときわからないことを聞ける、助けを求めることの大切さを改めて感じました。

お忙しいところご参加いただきありがとうございました。児童生徒、保護者の皆様が進路について情報を考えいくなことができるように学習や研修の場を設けてまいりますので、ぜひ今後も参加していただければと思います。

「拓け！自らの可能性 ～社会参加に向けて～」

本校では、将来の自立と社会参加を目指すために、「自己理解」「自己選択・自己決定」「自己表現」の経験を重ねることで、『自らの進路を自らで考える力』を高められるように、一人一人に応じた適切なキャリア教育の充実に努めていきます。また、生徒一人一人の進路実現のために、学校、家庭、関係機関と連携しながら進路指導を進めていきたいと考えております。

進路希望調査は、4、5月に、高等部全学年の生徒について実施いたしました。6月末に小学部5、6年生、中学部全学年を対象に実施します。また、高等部2、3年生についても第2回目の調査(後期現場実習先や卒業後の進路先)を実施いたします。

進路に関する情報収集の場として、「保護者進路研修会(7月、11月)」、「進路座談会(10月)」、「年金セミナー(1月)」などを開催していく予定ですので、ぜひ御参加ください。また事務室前の掲示板に、各事業所案内などの進路に関わる情報を随時、掲示しておりますので、進路を考える際などに参考にしてください。

どこの事業所を見学に行けば良いか分からない、などの御相談も受けていますので、担任を通して進路担当者まで御連絡いただければと思います。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

キャリア支援部 進路指導主事 江田 綾

今後の予定(6～10月)

期日	行事名等	内容	対象学部
6月9日(月)～ 6月20日(金)	前期産業現場等における実習	校内、校外における実習	高等部1、2、3年
6月27日(金)	進路希望調査配付	進路に関する希望調査	小学部5、6年 中学部 高等部2、3年
6月28日(土)	現場実習保護者報告会	前期現場実習のビデオ視聴、今後の流れの説明等	高等部
7月16日(水)～ 7月23日(水)	進路懇談	後期現場実習や卒業後に向けた進路に関する懇談	高等部2年
7月18日(金)午前	第1回保護者進路研修会	市役所による福祉サービスに関する説明や福祉事業所の紹介	全学部
8月下旬	職業相談	ハローワークでの求職登録等	高等部3年 企業就労希望者
10月3日(金)午前	進路座談会	高等部の現場実習のビデオの視聴と先輩保護者の講話	全学部